

直方市
教育大綱
未来を拓く

教育委員会だより

直方の教育

△問い合わせ▽学校教育課 TEL25-2323

全国学力・学習状況調査結果から

学校教育課

本年4月18日に小学校6年生と中学校3年生を対象に実施された全国学力・学習状況調査の結果が発表されました。この発表に基づき、本市の児童生徒の状況を報告します。

1 調査結果概要

下のグラフをご覧ください。図1は小学校6年生、図2は中学校3年生が、この2年間でどのように変容しているかを示しています。

小学校の国語・算数では、成績が向上していることがわかります。中学校の国語・数学においては、中1から中2にかけては下降していますが、その後、上昇傾向が見られます。

数値は県の平均得点率を100としたときの本市の得点率の割合を表したものです。

小学校4年生時は福岡県チャレンジテスト、5年生時は福岡県学力調査の結果を示しています。中学校は、1年生・2年生時は福岡県学力調査の結果を示しています。

2 取組と成果と今後に向けて

1で見ていただいたように、昨年度からは小中どちらの教科も学力の向上が見られました。

令和6年度直方市教育施策要綱では、全体を貫く大きなテーマを「未来を拓く」とし、新しい時代をたくましく生き抜く人づくりを目指しています。その中で、主要施策の1番目が、確かな学力の育成(学力の向上)です。その達成に向けて直方市学力向上重点取組として、授業づくりとICT機器の活用を掲げています。その点について取組の成果を説明します。

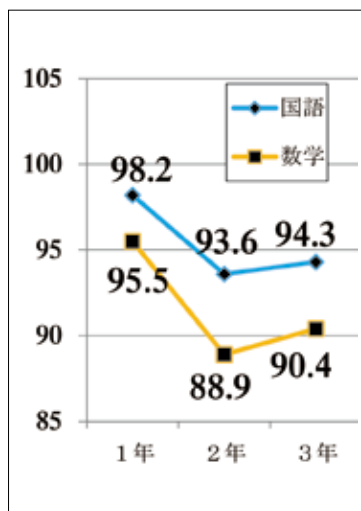


図2 現3年生の変容 (中学校)

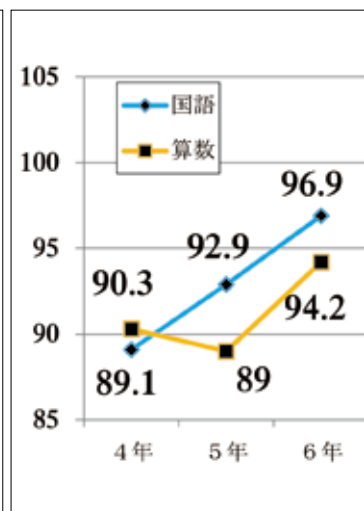
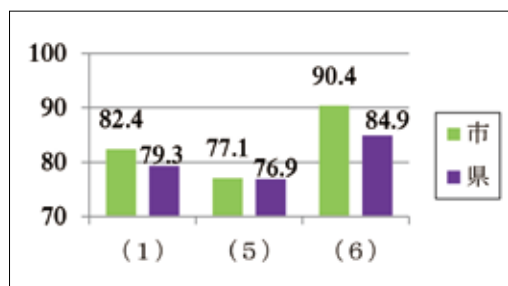


図1 現6年生の変容 (小学校)



(昨年までの授業で、) 学習の中でPC・タブレットなどのICT機器を活用することについて、
 (1) 自分のペースで理解しながら学習を進められる
 (5) 自分の考えや意見を分かりやすく伝えられる
 (6) 友達と考えを共有したり比べたりしやすくなる

図3 全国学調 質問調査結果 (中学校)

どの小中学校においても、授業の進め方を示した「のおがた授業モデル」を活用して授業を進めています。その成果が数値として現れていると考えています。

また、授業においてICT機器を活用することについては、小中ともに数値が向上していました。近年、そのICT機器を活用すること自体が目的となってしまうことが教育界で問題視されていますが、本市では、中学校の質問調査結果(図3)から子どもたちはICT機器を活用することの有用性を感じていることがわかります。

小学校においては、2学期から4・6年生にデジタル100マス・タイピング英単語という新しいICT教材を導入し、集中力の育成に向けて帯学習の場(授業外の補充学習時間)で取り組んでいます。

今後も不易と流行を見極めつつ、子どもたちの教育を進めてまいります。

「小中学校施設の 太陽光パネル設置について」

教育総務課

近年、小中学校における環境教育は重要性を増してきています。対象となる教科の幅も広がり、教科における環境の要素も少しずつ増えています。そんな中、直方市では、小中学校の校舎等に太陽光パネルを設置するという事業が実施されています。

直方市は、令和4年2月、脱炭素社会の実現に向け、2050年までに二酸化炭素排出量を実質ゼロ（カーボンニュートラル）にする「ゼロカーボンシティ」の実現を目指すことを宣言しました。また、同年4月、北九州都市圏域として脱炭素先行地域の選定を受け、公共施設群において第三者保有方式により太陽光パネルと蓄電池を導入し、最速かつ最大の再生エネルギー導入モデルの構築を目指しているところです。

直方市の公共施設における第1号となる取り組みとして、令和5年8月には直方市汚泥再生処理セ

ンターの屋根に太陽光パネルを設置することができました。

また同時に、事業性も考慮しながら直方市内の小中学校への設置を検討し、令和6年度、植木小学校と直方第一中学校に太陽光パネルを設置することを決めました。具体的には、今年度夏休み期間中に直方第一中学校体育館屋根の太陽光パネル設置工事を実施し、冬休み前までに植木小学校校舎屋上に同様の設置工事を実施する予定です。今後も設置可能な学校における太陽光設備設置事業を検討し、「ゼロカーボンシティ」の実現に向け、少しでも環境のためになることを進めていきたいと考えています。

環境問題対策とあわせて、この事業が直接こどもたちの目に触れる環境対策施設として、環境教育の効果が期待されるところです。



「日曜ひろばを開催しています」 こども育成課

地域子育て支援センターは、古町商店街の【多世代交流スペース ここっちゃん】の中にあり、就学前のこどもと保護者の交流のひろばを提供しています。今年度からは、より多くの子育て中の親子が利用しやすいように、毎月1回日曜日にあそびのひろばをはじめました。

6月には、父の日にちなんで、音楽に合わせて身体を動かす【パパビクス】を開催しました。12組の参加があり、親子の触れ合いを楽しみました。身近にあるタオルを使った遊び等を体験し、「家に帰ってから、こどもと一緒に遊ぶきっかけができた」と好評でした。



その他、夏まつりや絵本の読み聞かせ、食育、音楽会など、たくさん親子が楽しめる日曜ひろばを開催する予定です。

地域子育て支援センターでは、子育て中の保護者の不安や孤立感を解消し、安心して子育てができることを目的とし、育児に関する講座の実施や、情報を提供しています。

また、商店街という特性を活かして、地域の方とのつながりを広げていきながら、いろいろな世代の方との交流ができることを願い、これからも楽しい子育てにつながる取り組みを続けていきたいと思っています。

